

# インタビューに参加した委員の感想



オーストラリア人のインタビューに立ち会いました。家事や育児については男女隔たりなく行っていて良い関係だと思いました。しかし、保育園に預けるのは収入が高い人、収入は男性が高いという問題が気になりました。他の国にも課題があり、世の中の流れに制度が進化すれば良いと思います。  
(青山委員)

外国との比較を通して考えるというテーマでしたが、男女共同参画は個人の意識の問題だと感じました。子どもの頃から男女共同の意識を持たせることは大切だと思いますが、ALTの先生方は授業で工夫をしているということなので、名取の子ども達は幸せだなと感じました。  
(小室委員)

各国の男女共同参画の意識をお伺いし、日本と共通する部分や全く異なる部分など様々な発見がありました。それぞれの国の考え方を参考にし、男女の性別に限らずあらゆる人が個人の特性を活かして活躍し、イキイキと生きることができる社会になることを願います。  
(寺嶋委員)

それぞれの国の子育て事情や、職場における男女格差の違い、家庭での男女の役割分担の違いなど、国によって様々である事に驚きました。特に、オーストラリアでは男性が育児休暇を取る事が当たり前だと知り、子育てに対する男性の意識が日本よりかなり進んでいると感じました。  
(阿部委員)

夫婦の有り方も、料理・掃除等家事に於いても、普通のこととしてお互いに得意な方をそれぞれ行う。また、育児や買物等でも夫婦が話し合ってスケジュール・曜日・時間を決めて都合のつく方が行うなど、お互いを尊重し合いそれが自然に出来ることが羨ましく思いました。  
(田端委員)

アジア以外の国では、履歴書に性別や年齢、写真もない国が多いと聞き、風土の違いを感じました。何が出来るかを、問いかけるものになっている。日本も大きく意識を変えるためには、履歴書のフォームを変えるくらいが必要なのではと感じました。  
(本同委員)

今回の取り組みでは、海外から見た日本のおかしい部分や、海外と比較し充実している日本の制度を知ることができました。そのことから、制度の活用率を上げるための取り組みがまだまだ不十分であることを実感しました。  
(石山委員)

結婚を機会に、海外から日本に来て生活している方と、直接お会いし話を聞けたこと、貴重な体験でした。ありがとうございました。人と人との交流を通してお互いを知ること、自分の見聞を広めることの大切さをあらためて感じました。  
(武田(芳)委員)

## 編集後記

いよいよ2020年夏、オリンピックが日本で開催されます。私たちは、今まで以上にさまざまな国の方々と触れ合うこととなります。今回は、国際交流という視点から名取市で生活し、活躍する方々にインタビューを行い、それぞれ生まれ育った国と日本との違いを実感されたご意見は、私たち委員一人ひとりにも男女共同のあるべき姿を考えていく上で貴重な経験となりました。この情報誌が、性別や年齢、障がいの有無、国籍等に関わらず、今後の名取市のより良い街づくりにつながるきっかけとなれば幸いです。(前田委員長)

●この情報紙は市民で構成される委員会のみなさんが直接取材し、原稿を作成しています。情報紙に関するご意見・ご要望、また取り上げてほしいテーマなどがありましたら、下記までご連絡ください。

編集と発行

名取市男女共同参画推進委員会

〈この情報紙に関する問い合わせ先・事務局〉

事務局

名取市総務部 男女共同・市民参画推進室  
TEL 724-7146 FAX 384-9030



名取市男女共同参画情報誌

プラス  
17号

2020年3月

# Hand in Hand 21 Plus

## ハンド・イン・ハンド 21 プラス

特集

### 「さまざまな国の男女共同参画の取り組み ～名取市に住む外国の方へのインタビューより～」

今回の特集は、国際交流をテーマにお届けいたします。性別役割分業意識が高いと言われていた我が国も、男女平等の観点からさまざまな取り組みにより、家庭や職場、地域等における男女共同参画への意識が年々高まってきております。では、日本以外の国ではどのような取り組みがなされているのでしょうか。そこで今回の情報誌は、さまざまな国から現在日本(名取市)で暮らしている方々に、それぞれが生まれ育った自国の男女共同参画に関するインタビューをさせていただきました。

インタビューにご協力していただいたのは、自国がオーストラリア、ブラジル、中国、タイの4か国、合わせて5名の皆さんです。現在日本で生活や仕事をする中で、自分が生まれ育った国との文化の違いを強く感じておられることと思います。諸外国との比較を通して、日本の男女共同参画について、名取市の皆さんに関心を持っていただくことを目的として実施しました。主な質問内容は以下のとおりです。インタビューの内容は次ページをご覧ください。

## 主な質問内容

- 1 家庭(家事・育児など)における男女の役割について
- 2 仕事(職場)における男女差について(役職・立場・仕事の内容 など)
- 3 自国の制度について(産休・育休・職場への復帰がしやすいか など)
- 4 その他



※令和元年度策定 第三次名取市男女共同参画推進計画

【人と人、ともに輝きともに創る ふるさとなとり】

## 〔基本目標6〕 地域における男女共同参画の促進 ～国際的な男女共同参画の理解～

- 1 国際的な男女共同参画の理解と交流活動の推進
- 2 多文化共生の理解促進



# 「さまざまな国の男女共同参画の取り組み ～名取市に住む外国の方へのインタビューより～」

## ALT(外国語指導助手)

**日時** 2019年9月8日(日)  
**場所** 名取市民体育館(会議室)  
**参加者** 前田・石山・青山・小室・田端・阿部・本同

**ゲスト** シャーリーン・レイさん(オーストラリア)1年半在住  
カイ・マークスタイナーさん(オーストラリア)4年在住  
※どちらもALT(外国語指導助手)のため来日し、名取市内の小中学校に勤務しておられます。(以下、敬称略)



### ①家庭での男女の役割について

**シャーリーン:** 私の両親は忙しく働いていたので、家事は兄がしていました。だけど、友だちの家ではお母さんが家事をしていました。また、家事代行サービスも利用していました。

**カイ:** 私の母は専業主婦でした。父はステーキやサンドイッチなど料理をする時もありますし、プールの掃除や庭の水やりなどしていました。

**シャーリーン:** オーストラリアでは学校で掃除の時間はありません。それは家で教えることです。

**カイ:** 日本では学校で掃除をしているから驚きました。

**シャーリーン:** 結婚したら家事は分担します。曜日でどちらが何をするかを決めたりします。

**カイ:** 元々は男性が稼いでいたが、商品や家賃が上がったので共稼ぎしないといけなくなりました。

### Q. オーストラリアでは、母親が働き、父親が家で家事をするのは一般的ですか？

**シャーリーン:** 一般的ではないですが、オーストラリアでもますます増えてきています。

**カイ:** 私の祖父祖母は2人で家事をしていましたよ。分担できるのが理想です。

### ②職場での男女の差について

**シャーリーン:** オーストラリアでも男女差はあります。給料の差は世界の問題です。glass wall(ガラスの壁)という言葉があります。女性がリーダーになることは少ないと思います。

**カイ:** 男性の方が給料は高いと思います。

### ③自国の制度について

#### Q. 育児休業について教えてください。

**シャーリーン:** 育児休業は男女ともに1年半保障されています。出産で辞める人もいますが、医者や弁護士などは戻る人が多いです。法律的には、戻ったときの待遇は変わりません。

#### Q. 子どもを預ける制度はありますか？

**シャーリーン:** 保育園はあるけど、価格が上がったのでやめる人もいます。

**カイ:** 祖父や祖母、友人に預ける人もいます。保育園は時間を調整してくれます。例えば、9時～15時までとか、15時～20時などです。開園は7時か8時で、閉園は20時が一般的です。

#### Q. 男性の育児休暇取得率は多いですか？

**カイ:** ほとんど男性は1～2ヶ月間取ります。特に、初めての子どもの時は取ります。

### ④その他について

#### Q. LGBTについて教えてください。

**シャーリーン:** テレビでそのタレントを見て笑うのは失礼です。オーストラリアではその人たちを認めています。カミングアウトして、もしその人たちがいじめられたりしたら法律で罰せられます。

**カイ:** オーストラリアでは学校でLGBTの教育をしています。LGBTの結婚も認められています。高校の時、エイズについての授業もありました。

#### Q. 履歴書について教えてください。

**シャーリーン:** オーストラリアでは履歴書は文字のみです。写真や年齢、性別は書きません。

**カイ:** 私は来年、日本で就職活動をするから、履歴書を書くのが心配だ(笑)



質問はこの4つです。それぞれ国ではどのような男女の差があるのでしょうか。

① 家庭

② 仕事

③ 制度

④ その他

## 国際交流協会ともだち in 名取

**日時** 2019年9月9日(月)  
**場所** 名取市民活動支援センター(会議室)  
**参加者** 石山・武田(芳)・田端・寺嶋・阿部・本同

**ゲスト** トキタ・ミリアン・ユミコさん(ブラジル)24年在住  
ソ・ケンホウさん(中国)3年半在住  
スズキ・ラタナポンさん(タイ)8年在住  
(以下、敬称略)



### ①家庭での男女の役割について

**トキタ:** 私は日系ブラジル人の家庭だったので日本とあまり変わらないと思います。父はあまり家にはいませんでした。

**ソ:** 中国は基本共働きで、家事は両方で行っています。育児は女性、料理は男性が多いです。中国にも幼稚園はありますが、なかなか預けられない。両親に預けるのが一般的です。日本人の男性が家事をしないのはなぜ？それは日本の文化ですか？

**スズキ:** タイは中国に近いと思います。共働きで、家族が多い分、その中の誰かが担当します。ベビーシッターを頼む家庭が多いです。家事をするのは女性が多いです。でも、料理はあまりせず、外食が多いです。

### ②職場での男女の差について

**トキタ:** ブラジルも男女の差はあります。あまり日本と変わらないです。

**ソ:** 中国では男女差は無いです。力仕事は男性のみを募集しますが、昇格に関しては優秀であれば男女差や年齢差は無いです。逆に、仕事ができない人はクビにされる。日本はクビにされないのはなぜなのか分からない。その点日本は恵まれています。

**スズキ:** 男女の差はないです。タイでは女性の上司も多いです。私から日本を見ると、やはり男性がメインの社会に見えます。タイでは、大変な仕事は男性、簡単な仕事は女性がします。

### ③自国の制度について

#### Q. 育児休業について教えてください。

**ソ:** 中国には(育児休暇の)制度は無いと認識しています。あるかも知れないけれども、周りで取得している人はほとんどいません。子どもを産んだ場合は、ベビーシッターや親へ頼んですぐに仕事復帰します。

**トキタ:** ブラジルにもその制度はあります。日本とあまり変わらないと思います。



### ④その他について

#### Q. LGBTについて教えてください。

**ソ:** 中国では社会的に受け入れられていません。

**トキタ:** ブラジルは認められています。

**スズキ:** タイでは、プライベートと仕事を分けて考えています。例えば、同性婚も認められていますし、LGBTであっても仕事に影響しません。

#### Q. 履歴書について教えてください。

**ソ:** 中国の履歴書では、学歴や仕事経験を重視します。

